

6月18日(日) 小垣江地区 避難所運営ゲーム(HUG)講習会

今年も災害時の避難所への被災者受入れ・運営を参加者が一緒に考えて学ぶ、避難所運営ゲーム(HUG)を市民館で実施しました。HUGでは刈谷防災ボランティアの方による、災害発生から避難までを座学で学んだ後、小垣江小学校での避難所立ち上げをテーマに取り組みました。この日は地区内の民生委員、女性部、地区委員、地域安全パトロール隊、消防団、青年団など多くの団体から参加して頂き、10班に分かれて次々と出てくる課題に班内で意見を出し合い、各班で避難所のレイアウト案を考えました。今回、これらのレイアウト案を元に、小学校の先生方のご意見も加えて、避難所レイアウトのベースを作成しました。このレイアウトについては今後の活動の中で更にブラッシュアップし、被災時に避難された方が使えるレベルのものにしていきたいと考えています。

**6月30日(金)7月10日(月) 地域に根付いた交通安全活動**

ゼロのつく日は交通事故ゼロの日。主要交差点での見守り立哨は、地域の皆様のご理解もあり、しっかりと根付いています。立哨には中学生の自転車通学の時間帯から交差点に立って頂いている方もあり、通過する車のドライバーへの交通安全の意識づけにも繋がっています。また、小中学生からは元気なあいさつを貰うことが多く、こちらも朝から元気になることができます。定期的なこの活動が今後も続くよう引き続きご協力をお願いします。

**7月14日(金) 夏の交通安全県内一斉大監視**

夏休みも目前。この日は県内で夏の交通安全一斉大監視が行われました。今回も見守り隊・パトロール隊・地区委員などが子供達の通学に付き添い、主要な交差点で立哨しました。小垣江交番前では通勤の車が行き交うなか、半ノ木橋方面、踏切方面から来る集団が一斉に交差点を通ります。交通指導員の方の見守りの中、子供達は手を上げて横断歩道を渡っていき、最後に大きな声であいさつをしていました。夏休みの間もこの習慣を続けて交通事故の起きることなく新学期を迎えて欲しいですね。



7月23日(日)半ノ木花壇の除草活動

6月に花を植えた半ノ木花壇も、最近の雨と強い日照りで雑草が花を覆う勢いで伸びています。このため、一部の地区委員が日曜日の早朝に集まり除草作業をしました。心地よい風が吹く中、除草は進みます。中には、(Aさん):「Bさん、抜いてるその草、花が咲くヤツだよ！」(Bさん):「アレ?・・・!」みたいな会話も聞かれ、和気あいあいとした雰囲気の中で除草作業を終えました。これでしばらくは花が楽しめそうです。



読んでおくれん 「小垣江の歴史・文化・史跡探訪」

シリーズ 98「巡見橋の歴史」 その1

記：内藤 元久

巡見橋について解ったことを記したい。

江戸時代に架けられた橋で、将軍の代替わり毎に諸国の実情を調べる為巡見視が派遣された。一行は大名行列並みで、藩・村役人からこの橋で出迎えを受けたので「巡見橋」と名が付いた。今の巡見橋は昭和60年

(1985)～平成2年(1990)猿渡川の護岸工事を含め架け替えられた。片側二車線、中央分離があり両側に歩道が付いた。新橋(旧橋)の比較は、長さ75.2m(40m)、幅員20m(7m)と立派な橋になった。レトロ調デザインで4基の親柱には小振りな常夜灯が付き夜に灯りがともる。その下に青銅製の巡見視のレリーフが嵌まっている。両側の欄干にアルミ合金製の猿のレリーフが29枚嵌められ猿渡川の名の元となった猿が川を渡る情景が描かれている。こちら岸と向こう岸の2画面で構成されている。この工事では、江戸時代からと思われる檜の丸太が川底からゴロゴロ出てきたという。元刈谷からの20m道路の市道が巡見橋を経由し県道小垣江安城線に繋がる。(次号に続く)



巡見橋



巡見視



猿のレリーフ

れ猿渡川の名の元となった猿が川を渡る情景が描かれている。こちら岸と向こう岸の2画面で構成されている。この工事では、江戸時代からと思われる檜の丸太が川底からゴロゴロ出てきたという。元刈谷からの20m道路の市道が巡見橋を経由し県道小垣江安城線に繋がる。(次号に続く)

『刈谷市史、刈谷市土木管理課、清水達也氏の巡見橋が変わった!』等を参照

8月中旬
～9月中旬
の予定

- ・ 8月18日(金) 市民盆踊り大会 青年団
- ・ 8月24日(木) 地藏盆(誓満寺) 青年団
- ・ 9月3日(日) 地区一斉避難訓練 地区、民生、自主防
- ・ 9月9日(土) J A跡地除草作業 地区
- ・ 9月17日(日) 敬老会 地区